

ウムチョ ムィーザ通信

No. 4 4

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

総会を終えて

2016年6月4日

NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠^{とわり} マリールイズ

「ルワンダの教育を考える会」が活動을続けてこられたのは皆様の温かいご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。

東日本大震災の際、東北で講演が出来なくなってしまうと危惧した時期、おもに西日本・九州での講演や福島の子供達への保養キャンプなど皆さんは早い段階で助けの手を差し伸べて下さいました。私事になりますが、今年成人式を迎えた娘のサクラは、熊本の皆さんが迎え入れてくれて3年間の楽しい高校生活を送ることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

このたび、想像できない大地震が熊本県を襲いたくさんの命が犠牲になってしまいました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。そして、一瞬にして住まいをなくし避難生活を送っているたくさんの人もいます。皆様が一日も早く安心して暮らせる生活が取り戻せるように願っています。皆様に寄り添えるようにこれからも繋がっていきたいと思います。

「ルワンダの教育を考える会」は、総会にて定款を改正しさらに活動の輪を広げていくことを承認していただきました。ルワンダの内戦から22年経った今は、戦争を体験した子ども達は学園には通っていません。戦争の傷を負った世代がお父さんお母さんになっています。給食を食べ、健康診断を受けそして毎年平和を考える集いを開催することによって、子ども達が心身ともに健康で夢がめぐる未来を学園から発信していこうとしています。喜ばしいことに、学園の音楽が好きな卒業生が現在照子さんのピアノのレッスンに励んでいます。彼は「私が照子さんから受け継いだ音楽を後輩たちに教えていけるように頑張りたい。」と言って励んでいます。うれしくてうれしくてやっぱり教室には夢があると改めて感じさせてくれました。



2006
年12月
小学5年
生のジュ
コさん

また今年は、新しい未来を切り開いてくれる子ども達の指導に当たってくれている先生方のスキルアップを図っていきたくて考えています。教師という素晴らしい仕事に自信をもって愛情をもって希望をもって夢をもって次の未来につないでほしいという願いを皆さんとともに実現していきたくて考えています。



赤ちゃんを
おんぶして
いるルワン
ダ人形

「生きていれば必ず明るい明日が来る」その新しい明日をみんなで手と手を取り合って若い世代に伝えていきましょう。「ルワンダの教育を考える会」の活動は支えてくださる皆様がいるからこそ前を向いて歩くことができます。これからも共に生きる喜びをたくさんの方々と分かち合っていける活動を続けてまいります。

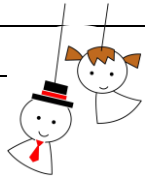


ウムチョ ムィーザ学園の会計報告 2016年度1学期(1月1日～3月31日)

学費の納入状況の報告

*2016/3/31現在時価換算による

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	16	15	9	29	22	33	23	22	15	184	2,051,570
その他	6	5	16	6	3	8	8	6	7	65	285,210
0%	4	6	1	7	15	8	8	7	6	62	0
合計	26	26	26	42	40	49	39	35	28	311	2,336,780
予算額											3,467,600
不足金額											1,130,820



1人あたり=70,000ルワンダフラン(約10,407円)から
1人あたり=75,000ルワンダフラン(約11,150円)に



2016年1月1日～3月31日会計報告 *2016/3/31現在時価換算による

〔収入〕

〔支出〕

単位:円

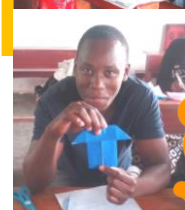
項目	金額	項目	金額
学費(過年度回収分含む)	2,744,660	給料・手当	1,779,950
入学登録料	58,870	社会/健康保険料	223,704
学校保険掛金	0	所得税	201,606
パソコン教室収入	0	給食経費	825,089
ピアノリース収入	23,100	光熱費	32,682
ユニホーム作成販売	186,180	通信費	49,499
ユニホーム作成室賃貸	0	印刷費	100,298
多目的室賃貸収入	14,866	旅費交通費	102,073
バス運行収入	0	会議・研修費	96,691
水販売収入	1,039	施設維持費	247,361
アンテナリース収入	0	外部監査料	342,671
その他の収入	0	医療保険料	23,757
給食費	847,616	緊急医療費	0
考える会からの支援	938,057	市税	17,479
個人寄付	24,927	備品	0
補助金	0	建設/リフォーム	0
繰越金	1,800,760	交際費	31,695
個人からの返済	5,945	銀行手数料	11,602
		制服/学用品	130,790
		職員前借り	29,733
合計	6,646,020	合計	4,246,680

残金

2,399,340

日本の円を
ルワンダへ送
金すると、日々
金額が変動す
るので、毎学期
の報告額を単
純に比較できな
いので、おおよ
そのお金の動
きとしてご理解
願います。

日々忙しい先生方
ですが、時間を頂き折
り紙のワークショップ
を行いました！！



てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」)と呼ばれている照子さん
(当会理事斎藤照子 2012年8月28日日本を出発し以後ルワンダ在住)の近況をお知らせします。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さん、こんにちは！お元気ですか？

祝78

私は、この5月に心身共に健やかに、満78歳を迎える事ができました。

いつもの朝礼が終わると、いつにない何かのセレモニーの準備が始まり、突然、校長から私の名前が呼ばれました。

なんとまあ、それは私の誕生日を、学校全員が祝うセレモニーだったのです。私は心の底から驚き惑いましたが、全員が歌う「ハッピー、バースデー」を素直にうけ、私からは即興で「ありがとう」を、ルワンダ語、英語、日本語で歌い「これからも、皆さんと共に生きて行きますよ」と話しました。



心の中では、来年はこのような晴れがましいセレモニーはなしで、私の感謝の気持ちを何かの形で分かちあう事と決めました。

さて、また一つ歳を重ねましたが、気力体力が減るところか増えている感じが致します。校長や年輩の方から「学校への徒歩通勤は、年齢的に大変だろうから中止しては」との声を頂きましたが、私にとっての徒歩通勤は、単に歩く事ではなく、呼吸法を用いて大股で速歩するのです。この時間は、私にとって心身の鍛錬に欠かせない、大切な時間なのです。

ルワンダのように、四季がはっきりしない一年間は同じように見えても、太陽の昇降時間は少しずつ変化しており、それに合わせて自然の息吹も、変わって参ります。変化しないように見えても、少しずつ変化しているのです。

自然のサイクルの中で、あまり感じられないような変化が、自然の循環サイクルに沿って、巡りめぐって行きます。それを、私なりに感じながら歩くのです。歩く中で、抱えている困難な課題についてのヒントやアイデアが、湧いて来ます。気づかずにいた解決策が、こんがらかった糸がほぐれるように、簡単に見えて来るのです。ストレスになる前に、歩きながら考える事によって、問題が整理されて行くのです。このような通勤時間は、いろいろな意味で、私にとってはとても大切な時間です。



それ故、「私は歩くことが大好きですから、今はまだ歩いて通えるので、歩くのが大変になったら、その時考えます」と、笑いながら答えております。

いつまで生きるのかは、「神のみぞ知る」で、私が関知する事ではありませんが、今は「多くの人達と分かちあい、共に生きて生き抜く事」「何があっても、明るく楽しくおおらかに」と思っております。



2016.5.23

それでは、また。お元気で…… IZUBA照子



ウムチョムイーザ学園の近況



学園で活動中のJICA青年海外協力隊 佐々木暁さんより



みんな元気いっぱいです。2016年2月10日
当会理事 鈴木恵子さんから贈られた日本でも人気の
輪ゴムアクセサリ制作キットを使ってプレスレット
を子ども達と作りました。

子ども達はすぐに習得し、とってもとっても喜んでい
ました！今回はジャパニーズクラブだけで行っていま
したので、次回は全校生徒と作ってみたいと思います。

折り紙のワークショップ 2016年4月7日

4月1日に1学期が終了し、2週間の休みに入りました。日々忙しい先生方ですが、1日時間
を頂き、折り紙のワークショップを行いました。メインの先生は現地の先生が行いました。彼女
は折り紙を日本人以上によく理解し、なぜ折り紙が重要かということを先生方に講義してくれま
した。実践面では先生方も子どもに戻ったかのように楽しんで取り組んでいました。今後も継続
して行っていく予定です！



熊本地震を想って祈る 2016年4月22日

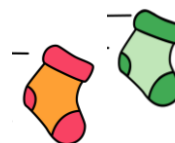
このたび熊本地震により亡くなられた方々のご
冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対
し、心よりお見舞い申し上げます。ウムチョム
イーザ学園の小学校、幼稚園の朝礼時に、皆様の一
日も早い平安をお祈りいたしました。



靴下のプレゼント 2016年5月4日

5月4日に日本からのお客様がウムチョム
イーザ学園を訪問して下さいました。

その時、日本の温かい心ある会社から全校生
徒へ靴下をプレゼントしていただきました。子
ども達はとても喜んで大騒ぎ！翌日にはさっ
そくいただいた靴下を履いてきました！！ご
好意を深く感謝いたします。



平成28年度総会報告

NPO法人ルワンダの教育を考える会の総会が平成28年5月14日（土）「福島市働く婦人の家」で開催されました。午前10時10分、本田事務局長が開会を宣言、理事長マリールイズがあいさつの後、議長に大寺智子さんを選出し議事に入りました。H27年度事業報告と決算、監査報告、H28年度事業計画と予算、定款変更、役員改選、賛助会費改定について審議、全て承認され午前11時50分閉会しました。概要は以下の通りです。



1.27年度活動報告

「国内活動」

○ルワンダを理解してもらう講演活動：マリールイズが全国89か所で、命と平和、教育の大切さを訴えた。

○異文化理解と、ルワンダの自立支援事業：

- ・RwandafulSummer2015:27年7月19~20日（ルワンダ DAYin ふくしま）JICA、福島大と共催で開催、ルワンダ留学生、高校大学生、仮設の皆さんと交流を通じ「復興」をテーマにシンポジウム実施。国際医療活動に取り組む桑山紀彦さんによる「地球のステージ」公演。（参加者約400名）
- ・ルワンダツアー実施：28年2月23~3月1日 全国から19名が参加、キガリからはイザーバ照子さんも合流、学園の子ども達との交流、ジェノサイドメモリアル・国立公園見学、道造りなどで地域の方と交流し濃い内容のツアーとなった。
- ・東日本大震災復興支援事業：昨年に続き[赤い羽根募金]等の支援を受け仮設訪問を毎月開催してきた。（12回）

○その他：ルワンダ写真展

（27/12.26~28,28/1.4~7）、参加型イベント出店参加 桜の聖母文化祭他21回。

「ルワンダでの活動」

○学園運営費支援：

学園運営費、奨学金、給食室改善、教材支援など約600万円送金した。幼稚園小学校合わせて286名（2016年12月現在）が元気に学んでいる。

平成27年度会計報告		
[収入の部]		
H27.4.1~H28.3.31 （単位:円）		
項目	金額	備考
講演活動	4,103,242	講演会謝礼、旅費
販売活動	2,261,474	コーヒー・紅茶・本等
会費	535,000	正会員5000*107口
	500,000	賛助会員10,000*50口
寄附金	4,925,898	
留学奨学金	3,000,000	指定寄附
仮設寄附	114,111	指定寄附
500円寄附	448,500	
奨学基金寄附	66,500	学園卒業生の支援
ソーラー寄附	77,000	ソーラーパネル機材
ランチサポート	10,000	給食室支援
募金箱	151,697	イベント会場にて
コンサート収入	141,000	協賛金
助成金	354,095	JICA, 国際交流協会
	600,000	赤い羽根(仮設支援)
	861,340	フェリシモ基金(健康診断)
受取利息	156	銀行利息
合計	18,150,013	
[支出の部]		
項目	金額	備考
事業費	4,718,980	学校運営・施設費
	861,340	健康診断運営費
	591,288	コーヒー等材料仕入
	2,433,299	旅費交通費
	2,400,000	給与
	2,643,109	通信費、印刷費、その他
管理費	900,000	職員給与
	775,934	家賃、通信費、租税他
合計	15,323,950	
[残高]	2,826,063	
前年度繰越額	1,955,638	
次年度繰越額	4,781,701	平成28年度へ繰越

○子どもの健康診断プログラム：

子ども達の病気早期発見と地域の健康意識高揚につながり大きな成果をあげた。

○イズーバ照子さんを中心に8月に PEACE コンサート開催、その他折り紙など日本文化の紹介と情操教育普及活動。



2.28年度活動計画

○事務局の機能強化：月～金 10.00～16.00 職員常駐体制

マリールイズの二女ルーシーが、NPOの運営を若い視点で関わっていくことになりました。よろしくお願いします。



○組織収益力強化：新規会員拡大、コーヒー等物販強化

○定款変更：ルワンダ内戦から 22 年、会創設以来 15 年が経過し時代背景も変化、現状を見直して活動目的を以下に変更。

【この法人は、多くの尊い人命が失われたルワンダの内戦を歴史の教訓として、「教育は平和と発展の鍵」という理念のもと、未来を担う子ども達に対して、広く教育の機会を与え、民族や宗教政治思想にとらわれることなく、その人らしく生きていくための様々な教育支援に関する事業を行い、世界の平和と発展に寄与するとともにその理念を広めることを目的とする。】（福島県認証事項 認証後変更決定）

○賛助会員会費改定：1 口 10,000 円を 5,000 円に変更

将来の認定NPO法人の取得のために正会員と1口の金額を同額にした。正会員は活動に参加できる人（総会で会の活動に対して議決権あり）、賛助会員は本会に金銭面で支援してくださる人（総会にはオブザーバー参加）と区別していきたいと考えました。



○学園教員の算数指導力向上のため日本研修・現地研修活動

（JICA 草の根技術協力事業 2016 年応募案件）

仮設住宅の菅野様から本会へご寄付をいただきました

○その他継続事業：RwandafullSummer2016,ルワンダ写真展、避難者支援活動他。

平成28年度役員紹介

理事長	永遠瑠マリールイズ
副理事長	倉持 睦子
副理事長	阿部 貞夫
理事・事務局長	本田 啓之
理事	斎藤 照子
理事	大槻 美智子
理事	穴戸 なつ美
理事	鈴木 恵子
監事	大和田 紋子

（文責：阿部）



副理事長
阿部 貞夫 ご挨拶

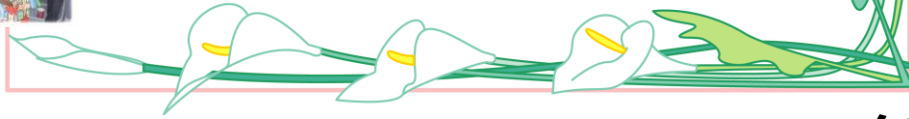


今まで、ボランティアとして3年間お手伝いをしてきましたが今度理事として会の活動に関わるようになりました。考える会は今、組織強化、財政基盤強化が求められています。

今回の総会で定款変更と賛助会費改定（5000 円）が行われ、気軽にサポーターとして参加できる体制ができました。皆さんの協力のもと、会の発展のためにお役にたてれば嬉しいです。



福島発 風のたより 仮設住宅のルワンダカフェ



大寺智子

毎月第三水曜日はここ二本松市にある福島県浪江町の「旧平石小仮設住宅」と「岳下仮設住宅」では、ルワンダカフェがひらかれる日。

「旧平石小仮設住宅」では、10時から開くので集会所には遅くても30分前にはコーヒーメーカーなど準備しなくてはならない。4月のこの日は東京から福島駅に8時には2人が着いている。青梅市から毎回来てくれているひろまさんは、前日に来て駅前のホテルに泊まっているという。千葉の大学院生となったアコちゃんは夜行バスで来るので朝の6時頃着いている。



もう1台の車には、大きなコーヒーメーカー2台とルワンダのおいしいコーヒー・紅茶。それと毎回おいしいクッキーを手作りして送ってくれる坂本さんのお菓子缶等荷物をぎっしり詰め、手際よく仕事をしてくれる鈴木さん達が乗る。

今日のゲストは、アメリカ人のロビン・ロイドさん。京都から前日に新幹線で来て準備してくれた。彼は一人で大きなスーツケースにアジアやアフリカ、北欧の素朴な民族楽器を数多く詰め込んでやってきた。腰や足首に木の実やヤギのつめでできたガシャガシャと鳴る鈴を付け穴のない長い笛を吹きながらステップを踏むのである。なんだか不思議だけれどおもしろそう。みんな引き付けられ見入ってしまう。楽しくおしゃべりしながら刀のように細長くて堅い「なたまめ」そのまんまの打楽器を振ってみせる。見たこともない。



ふるさとの民謡<相馬二編返し>仮設住宅に手拍子響く

これは、仮設住宅訪問のたびに、福島県を代表する夏祭り「相馬野馬追い」に欠かせない民謡「相馬二編返し」をホラ貝を交えみんなで歌っている時の情景を詠んだものです。生まれたときから聴きなじんできた歌で自然に手拍子が沸き歌声が広がります。懐かしい山や川、風や土の匂いなどがメロディーと共に思い起こされるのでしょうか。



東日本大震災による津波や福島第一原発事故のため、避難を余儀なくされた浪江町の人々が住むここ二本松市にある二カ所の仮設住宅では、5年経過した今も町内全域が避難指示区域となっており、戻ることはできない悲しさ悔しさを抱えながら生活しておられます。県内の他の仮設住宅や県外で避難生活を続けている方も多くいられます。

「ルワンダカフェ」は3・11後すぐに、自分に出来ることは何かないかと考えたマリールイズさんが、温かいルワンダコーヒーを行ける限りあちらこちらに届けたことからはじまりました。苦しい経験を持つマリールイズさんは、どんな状況の中でも生き抜く力にあふれ、どんな人ともすぐに仲良くなれる笑顔をもっています。ですから、「ルワンダカフェ」は毎回笑顔でいっぱいになるのです。

Rwandaful Summer 2016

2016.7.18 (月・祝)

13時～16時 (12時30分開場)

会場：ミュージカルがくと館 大ホール
(郡山市開成一丁目1番1号)

入場料：1,000円
全席自由 (当日券あり)



13:10～
ルワンダの教育を考
える会活動報告
ー永遠瑠
マリールイズー

13:50～
NOBY
オンステージ
～トランペット
コンサート～

14:20～
JICA 青年海外協力
隊活動紹介

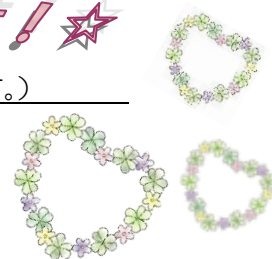
15:30～
NOBY
オンステージ
～トランペット
コンサート～

★各種振替口座番号のご案内です!★

会費振込・寄付・募金 (奨学基金・ソーラー発電もよろしくお願いします。)

郵便振替口座：02290-0-97126

加 入 者 名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在40名登録

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を
随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。



—編集後記—

4月の風の強い日に男の子が誕生
した。彼の未来に幸あれと祈らずにい
られない。無心でおっぱい
にしがみつく姿に生きる
力の原点を見るようです。



T.S

NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠マリールイズ



〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

福島 m a i l : info@rwanda-npo.org